

2009. 2. 26

中高生65%トラブル経験

携帯電話

小6は所有率24.7%

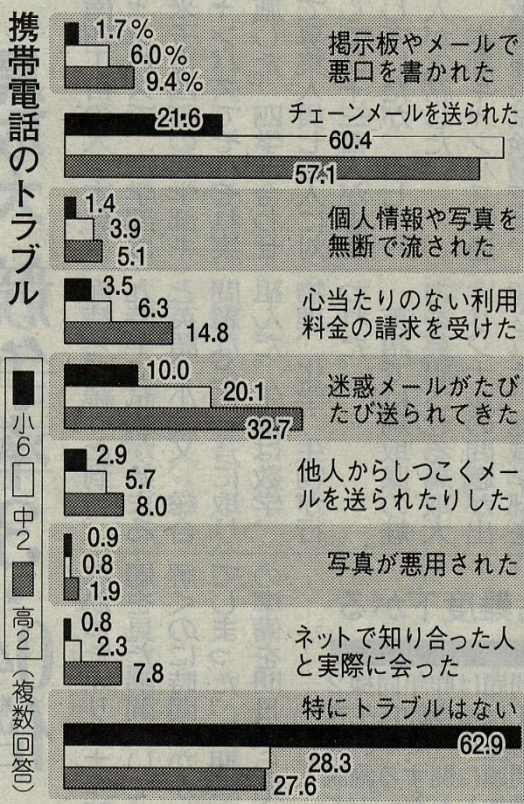
文科省初調査

携帯電話を持つ中学二年と高校二年の65%程度が他人の悪口などを書き込んだ「チェーンメール」といったトラブルを経験していることが二十五日、文部科学省の初の利用実態調査で分かった。所有率は小六が24・7%、高二が45・9%、高二

95・9%。年齢が上がるとともにあらためて論議となりそうだ。調査は、昨年十一月に実施、小中高の約一万人と保護者約九千五百人から回答を得た。

携帯サイトなどをめぐっては、保護者の70%以上が有害情報への規制強化を望んでいることも判明。利用マナーなど情報教育の充実

携帯電話のトラブル



、高二58・4%。五十件以上は中二で19・5%、高二で13・9%に上った。一日平均三十分以上ネットを利用するのは小六12・6%、中二41・4%。高二は61・6%と高く、40・1%が

自己紹介するサイト「プロフィール」を公開していた。